

Press Release:2012.8.7

Big Day Coming

中屋敷 智生 展 NAKAYASHIKI Tomonari Exhibition

2012年9月4日(火) — 9月16日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊



【画像01】 思い出の夢 / Dream of Memories 2008 アクリル、カンヴァス 1120 mm × 1455 mm

ご案内

ギャラリー・パルクでは、「big day coming:中屋敷 智生」展を開催いたします。本展は2000年に京都精華大学 美術学部 造形学科 洋画分野を卒業した中屋敷 智生(なかやしき・ともなり / 大阪・1977~)の、久しぶりとなる京都での個展として、新作を中心にその絵画作品の魅力をご紹介します。

中屋敷はまず心に留め置かれた「ある風景」を描くにあたり、ドローイング制作によってその構図・色彩のイメージを形作っていきます。そして、写実的な絵画制作を下部構造としながら、その画面には次第に印象や空想、あるいは筆や絵具の動きが作り出す偶然の関係性など、様々な虚構的要素が重ねられ、それらは縋い交ぜとなってひとつの「ある風景の絵画」として集約されていきます。また、リアル(実在)に虚構性が混入されたかのような絵画は、そこにSFのようなリアリティー(迫真性)を持った「真実味」のある世界を出現させます。

画面の大半を占める空に圧倒的な虹(のようなもの)が立ち上がる《思い出の夢 / Dream of Memories》では、混じりあった絵具の見せる抽象的なディテールはそのままに、「虹(のようなもの)」としての強烈な虚構が、なおも力強い真実味をもって画面全体を統べているかのようです。本作品において中屋敷は、湿度や気温との兼ね合いの中で、絵具の水分や色調を調整するなどのテクニックを用いながら、偶然によってあらわれるマーブリングのような現象を、あたかもその風景に「召喚」したかのように出現させています。中屋敷はそこに空想・記憶・虚構・事実・夢が曖昧に混じり合う、予定調和と破綻の狭間に揺れる絵画を描き出しているといえます。

新作を含む作品およそ10点を展示する本展では、その力強い作品を展覧いただくとともに、次第に実在と虚構が縋い交ぜとなるような不思議な感覚を覚えていただけるのではないのでしょうか。

Press Release:2012.8.7

Big Day Coming

中屋敷 智生 展 NAKAYASHIKI Tomonari Exhibition

2012年9月4日(火) — 9月16日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊



【画像02】 *Big Day Coming* 2012 アクリル、カンヴァス 1620 mm × 1940 mm

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 Big Day Coming:中屋敷 智生 展

出品作家 中屋敷 智生(なかやしき・ともなり)

会 期 2012年9月4日(火) — 9月16日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

主 催 ギャラリー・パルク

会 場 Gallery PARC(グランマーブル ギャラリー・パルク)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

料 金 無料

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

展示内容 【絵画・平面作品】 新作・旧作をあわせたとおよそ10点の絵画作品を中心に展示。

Press Release:2012.8.7

Big Day Coming

中屋敷 智生 展 NAKAYASHIKI Tomonari Exhibition

2012年9月4日(火) — 9月16日(日) 11:00~19:00 ※最終日18:00まで・月曜休廊

中屋敷 智生 NAKAYASHIKI Tomonari

【statement】

Big day coming

ある日、出会った風景をキャンバスに描こうと、ファインダー越しに記憶の断片を写真に留め、それを頼りに写実的な絵を描いてみた。しかし、それは退屈で空虚なモノだった。

その後、絵画の主題は、私の主観的な経験と勘、そしてちょっとした偶然を介して、今まで捉えきれなかった表層を紡ぎだしはじめた。

それは、言わば虚構的な翻訳を通じて私の記憶および感情に色を付けることであり、そのようにして色付けされた絵画は、個々に経験を積んだ真実より、リアルで感情を揺さぶられる風景、否1枚の絵画として誕生した。

私の絵画制作のプロセスは、非常にユニークである。例えば、とある風景をキャンバスに描こうとドローイングを幾つか制作し、構図、色彩のイメージを固めていく。その後、様々な実験を行い、キャンバスを回転したり寝かしたりを繰り返しながら幾層にも色が塗り重ねられていく。

最終的に完成するイメージは具象的な物が多いが、大半のプロセスは、偶然と必然との間をスリリングに行き来する抽象的な表現でテクスチャーが生まれていく。特に様々な種類のアクリル絵の具やメディウム、水分を厳密に調合して、寝かされたキャンバスに描く「Drawping」(Drawing / Dripping) という技法は、重力によるキャンバスの撓み、季節によって変化する温度や湿度などの微妙な変化にも影響される非常にデリケートな表現方法である。

そうしたプロセスの中、いつしか自分自身と数枚のドローイングだけを頼りに虚構の道筋を描いて行くのである。



【画像03】 Go Ballooning 2009 アクリル、カンヴァス 910×1167mm

【作家略歴】

1977 大阪府生まれ
2000 京都精華大学美術学部造形学科洋画分野卒業

個展

2010 Dream of Memories (ギャラリーアルテ / 本島, 香川)
2007 ANTENNA (ギャラリーアルテ / 香川)
2003 The Doubtful Balance (ギャラリーアルテ / 香川)
・ Osmazome (ストリートギャラリー / 兵庫)
2002 中屋敷智生 展 (Oギャラリーeyes / 大阪)
2000 中屋敷智生 展 (ギャラリーココ / 京都)
1999 中屋敷智生 展 (ギャラリーココ / 京都)

グループ展

2012 FUKUSHIMA ART プロジェクト×福島∞京都 (元・立誠小学校 / 京都)
2011 Multiple (Prinz / 京都)
・ 塩飽本島〜晴れに耕す。そしてアート〜2011 (本島, 香川)
2010 Food for the senses (海外通ギャラリーCASO / 大阪)
・ IWAKI ART TRIENNALE 2010 (いわき市, 福島)
2009 ESSENCE (天神山文化プラザ / 岡山)
・ ART LINK PROJECT 2009 (白石島・真鍋島 / 岡山)
2008 NANTAN ART LINK 2008 (へき亭 / 京都)
2007 とよた美術展'07 *審査員賞 (豊田市美術館 / 愛知)
2006 アーティスト・イン笠島「記憶の集積を創造の海へ」展 (本島, 香川)
2004 ワンカップコスモス展 (Cafe'y Galeria 風華 / 愛知)
・ 縁起物-connection展 (ギャラリーアルテ / 香川)
・ 8va展 (ギャラリーアルテ / 香川)
2003 絵画の証 (海外通ギャラリーCASO / 大阪)
2001 OPPAI ART LABπ r 事情展 (ワコール本社 / 京都)
・ 現代美術茨木2001展 (茨木市立上中条青少年センター / 大阪)
1998 中屋敷智生・ヤマガミユキヒロ・チヒロ展 (ギャラリーココ / 京都)



【画像04】 右
Green River

2011
アクリル、カンヴァス
1167 × 910 mm